

■徳島大学知的財産シンポジウム開催

12月2日、第一回徳島大学知的財産シンポジウム「日本の知財戦略」が工学部創成学習スタジオで開催されました。

青野学長の開会挨拶に続き、丸山審議官から文部科学省の取り組み状況等について説明がありました。荒井内閣官房知的財産戦略推進事務局長からは「知的財産立国への道、大学への期待」、樋口大塚製薬(株)法務部知的財産担当部長からは「知的財産活動についてー知的財産部



上がり大成功をもって2年目を終えました。本プログラムは、「ホノルルマラソンを走ろう」と「ホノルルマラソンをインターネット中継しよう」の二つの講座から成りますが、本年度は両講座あわせて160名が受講、昨年度より大幅増となりました。

7ヶ月間にわたるトレーニングと1丁学習の後、総勢109名でハワイへ渡航。ホノルルマラソンへの参加とその様子をインターネットで速報・中継する実習活動に挑戦しました。エントリーした20歳から67歳までの74名全員が完走。その感動のシーンは、現地中継チーム7名と大学開放実践センターで待機するバックアップチーム約40名とが共同して、徳島県内、全国へインターネット放送



やWeb速報で伝えることに成功しました。

また、本年度は、レース前には、徳大エイドステーション設置のために施設提供くださったっているトランスパシフィックハワイカレッジ(TPHC)と大学開放実践センターとをインターネットで結んで、テレビ会議による国際交流会を行いました。

TPHCジョン・ノリス学長と大学開放実践センター廣渡センター長との遠隔会議、日本の家族からの遠隔激励、講座受講生とTPHC学生諸君らによる阿波踊りとフラダンスの交換会などに沸きました。レース後には、ホノルルマラソン創設者が組織する地元ランナーグループとの交流も行い、従来に無い、そして太平洋を挟んだ生涯学習を实践しました。

ホノルルマラソン講座はいよいよ3年目が始まります。ニューヨークシティマラソンへの遠征もテーマのひとつに含まれる予定で、地域社会からの期待、全国的な注目はますます高まっています。

■学長杯争奪駅伝大会開催

1月24日(土)寒風の中、徳島中央公園の城山を周回するコースで、恒例の第4回学長杯争奪駅伝大会第32回徳島大学駅伝大会が開催されました。

男子は5区間16kmに29チーム(職員チーム1チーム含む)がエントリーしました。大会は熱戦が展開され、中央公園内は散歩中の一般の人からも声援が飛んでいました。

各参加チームは常日頃の健脚を思う存分発揮し、男子の優勝は陸上部Cチーム、女子の優勝はバドミントン部が飾り、両チームにそれぞれ学長杯が授与されました。



■平成15年度康楽賞受賞者決定

平成15年度康楽賞の受賞者(教官12人、学生50人、学術研究関係26人、奨学生24人)が決定し、1月23日(金)、財団法人康楽会から野田理事のご出席をいただき、長井記念ホールにおいて贈与式が挙行されました。

康楽賞は、昭和26年に開始され、今回で52回を数えます。本学の教官でその研究に成果のあった者ならびに学生でその人物、学業成績、研究成果等が優秀である者、および学業成績が優秀で、かつ経済的に困難である者を毎年表彰しているものです。式では学長から受賞者に対して、

教官は各人に、学生はそれぞれの代表者に賞状および賞金の授与されました。最後に財団法人康楽会に対して、大学及び受賞者を代表して、薬学部落合正仁教授から謝辞が述べられました。



■学内「企業合同説明会」を開催

2月12日(木)、13日(金)に工学部共通講義棟(創成学習スタジオ)、2月17日(火)、18日(水)、19日(木)に総合科学部3号館(スタジオ)において、学内「企業合同説明会」を開催しました。

この説明会は昨年度に引き続き企画・開催しました。各企業の人事担当者を本学に参集願ひ、直接面談することにより就職を希望する学部3年次及び大学院1年次学生の就職意識の向上を図るものです。



いることもあって、開催期間中で延べ800名余の学生が熱心に各企業のブースを訪問しました。なお、参加企業は、徳島県内20社、東京・大阪所在の25社をはじめ103社の参加があり、学生や参加企業からは次回開催日の照会があるなど、非常に好評でした。

■徳島大学コミュニティモール市の街づくりデザイン賞を受賞

徳島大学南常三島キャンパスコミュニティモールが、徳島市第10回街づくりデザイン賞コンテストを受賞。2月に市役所で授賞式が行われました。

受賞理由として、コミュニティモールは都市の美化に貢献し、地域に開放している休憩施設等市民に親しみやすい道路空間をつくり出していることが評価されました。

コミュニティモールのある南常三島キャンパスは、工学部センター等施設と総合科学部、共通教育の両エリアの間を市道が通り、さらに市道沿いに塀があったために相互の往来が遮断されていました。



そのため、総合科学部3号館改修の際に部の塀を取り払い、キャンパスと市道に統一感のあるスペースとして整備し、キャンパス空間のイメージ向上を図りました。現在市道の約2割は整備済みとなっておりますが、今後も順次整備し、一層のイメージ向上を推進していきます。



新聞報道にみる徳島大学

- ホノルルマラソン今年は74人挑戦[12.5 徳島 12.12 12.14 読売]
- 徳大実践センター受講生ネット中継、マラソン前にネットで交流
- ポリフェノール研究事例を紹介[12.9 徳島]
- 徳大で国際ワークショップ「ストレス制御をめざす栄養科学」
- ISO視覚障害者設備作業部会 議長に末田教授(工)[12.11 徳島 1.7 朝日]
- 点字ブロック 音響信号機 規格統一に意欲
- 徳大マンドリンクラブ 老人ホームでコンサート[12.15 徳島]
- ホノルルマラソン 徳島大講座生74人全員完走[12.16 徳島]
- 互いの健康たえあう
- ウィルス感染 20秒で診断するチップ開発[12.19 日経]
- "物質・材料研究機構と徳島大学、島津製作所が共同開発"
- マラリアの仕組み解明 免疫抑制の細胞活性化[12.22 日経 徳島]
- 徳島大安友教授米誌に発表
- 徳大歯薬学系大学院 4研究科の再編実現[12.23 徳島]
- 来年度政府予算案内示
- 徳大病院患者らXマス楽しむ[12.25 徳島]
- 四国大生 歌や踊りを披露
- デジタル地理情報システム 徳大で研究会[12.28 徳島]
- 教育への活用法探る
- 航空写真で防災マップ[12.29 徳島]
- 工学部岡部教授と沖洲コミュニティ協議会が製作
- エジプトで書道の交流 総科東教授[1.6 徳島]
- 路上ライブ365日達成 徳島大生妙玄さん[1.8 読売 1.9 徳島]
- 心こめて毎日歌い続け
- 徳島市の街づくりデザイン賞[1.14 徳島]
- 南常三島町の徳島大学休憩施設[commonsぺース賞]
- 感情込め文章読むソフト開発[1.23 日経]
- 徳島大系VB 言語理解研究所
- 半導体テストオープン化推進のSTCのメンバーに[1.27 電波新聞]
- 大学研究者サポート7人のうちに徳大工橋助教
- 国会議事堂の県産大理石 阿南・木沢で採掘[1.27 徳島]
- 徳大総科石田教授ら研究グループが特定
- 第5回ボエムランド賞に徳大工3年石舟さん[1.28 徳島]
- 冒頭の2行に光る感性
- 徳大大阪に産学連携拠点[2.5 徳島]
- PRやニュース収集 4月開設
- 元X-JapanのToshiさん徳大病院でミニコンサート[2.4 徳島]
- 高密度遺伝子チップ開発[2.7 徳島]
- 徳大分子酵素研木戸教授を中心とする産学官連携チーム
- 工学部「研究力」阪大が首位 徳大は20位[2.16 日経]
- 徳大病院・女性外来設置4ヵ月[2.17 徳島]
- 電話相談月60件超
- 徳大韓国留学生 韓国語通じ地域交流[2.20 徳島]

HEALTH

The University of Tokushima events

行事予定  
2004/4/01~2004/6/30

■平成16年度徳島大学入学式  
4月6日(火)  
アスティとくしま  
問い合わせ先: 総務部総務課 088-656-7009  
E-mail: sosoumuk@jim.tokushima-u.ac.jp

■徳島大学春夏の大学公開講座  
4月7日(水)開始  
大学開放実践センター  
問い合わせ先: 学務部教務課 088-656-7276  
E-mail: kigakusc@jim.tokushima-u.ac.jp

■徳島大学五月祭  
5月上旬  
常三島キャンパス  
問い合わせ先: 学務部学生課 088-656-7287  
E-mail: gksenmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

